

1 「ひなたのつどい（共生社会コンファレンス）」開催報告

I 概要

1 主催

宮崎県教育委員会、文部科学省

2 運営委託

株式会社A V C放送開発

3 テーマ

誰もが楽しみや学びに出会うために



4 日時

令和6年1月27日(土) 午後1時から午後4時まで

5 開催方法・参加方法

ハイブリッド開催 { 会場での参加
WEB会議システム「ZOOM」でのオンライン参加

6 会場

宮崎県教育研修センター2階 研修ホール
〒880-0835 宮崎市阿波岐原町前浜 4276-729

7 広報

- チラシの配布（特別支援学校、市町村教育委員会等）
- 県庁ホームページ、県生涯学習課ホームページ、SNS等での周知
- フリーペーパー等でのイベント紹介

8 日程及び内容

12:30	13:00	13:15	13:35	13:45	14:50	15:00	15:55	16:00
接続開始	オープニング	記念トーク	団体紹介	実践報告	休息	セッション	トーク	クロージング

(1) オープニング ※全体司会 真北 聖子氏（シンガーソングライター）

- 文部科学省の事業説明（障がい者学習支援推進室）
- 宮崎県の取組説明（教育庁生涯学習課）

(2) 記念トーク

「波瀾万丈物語 ～未来へ向けて～」 歌手 米良 美一氏

(3) 県内団体紹介（動画）

- 子どもと家族・関係者の集まり ポン太クラブ（都城市）
- 宮崎大学ボランティアサークル びいだま（宮崎市）
- バスケットボールチーム ブルーホーク（宮崎市）
- 輝きエイサーサークル（日南市）
- HPミュージックサポート（都城市）

- 自主学級「あいとぴあ」(日向市)
- 宮崎手話サークル「いもっこ」(宮崎市)

(4) 実践報告

- 公民館等モデル (延岡市教育委員会社会教育課 飯野 小巻氏)
- 大学公開講座 (宮崎県立看護大学看護研究・研修センター 川原 瑞代氏)
- 特別支援学校取組推進校 (宮崎県立延岡しろやま支援学校 森永英津子氏)
(宮崎県立小林こすもす支援学校 安藝美友希氏)

(5) トークセッション

- テーマ 「誰もが楽しみや学びに出会うために」
- 登壇者 米良 美一氏 (歌手)
上原 里奈氏 (都城市生涯学習課)
谷口 祐貴氏 (宮崎県青島青少年自然の家)
堀口 靖之氏 (宮崎市聴覚障がい者協会)
丸山 華音氏 (南九州大学人間発達学部の学部生)
- 進行 真北 聖子氏

(7) クロージング

9 情報保障

- (1) 手話通訳 (会場、オンライン配信)
- (2) 文字テロップ (オンライン配信)

10 参加対象

障がいのある方々の生涯学習に関心のある県民

11 申込み方法・申込先

- (1) 2次元コード (WEBフォーム)、メール、FAX (チラシ裏面) で受付
- (2) 申込先・問い合わせ先 株式会社AVC放送開発

12 オンライン配信テスト、オンライン参加への対応

- (1) 接続テストは、令和6年1月20日(土)午前10時から午前11時30分に実施
(配信先: AVC放送開発)
- (2) ZOOMのIDパスコード等は、令和6年1月25日(木)に連絡

13 事後

- (1) 参加者アンケートの実施
- (2) 県生涯学習課ホームページ「みやざき学び応援ネット」更新

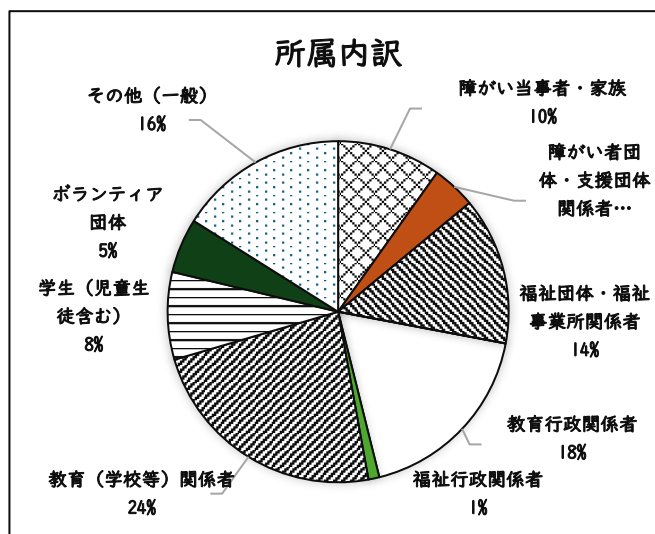


II コンソーシアムの実際

I 事前の参加申込人数

- WEBフォーム 179名
- FAXまたは電話 14名
- 事前申込人数 193名

障がい当事者・家族	19
障がい者団体・支援団体関係者	8
福祉団体・福祉事業所関係者	27
企業関係者	0
教育行政関係者	35
福祉行政関係者	2
教育（学校等）関係者	45
学生（児童生徒含む）	16
ボランティア団体	10
その他（一般）	31
合計	193



2 当日の参加人数

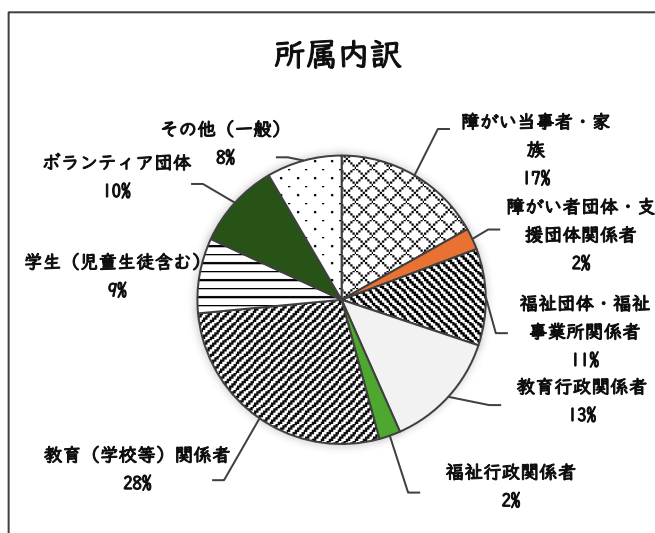
会場	107名
オンライン	97名
合計	204名

※ 当日申込含む（都城きりしま支援学校でのパブリックビューイング等）

3 アンケートの回答数

- 回答数 83名（紙媒体63名、WEBフォーム20名）
- 回答者の参加形態 会場73名、オンライン10名
- 回答者の所属内訳

障がい当事者・家族	14
障がい者団体・支援団体関係者	2
福祉団体・福祉事業所関係者	9
企業関係者	0
教育行政関係者	11
福祉行政関係者	2
教育（学校等）関係者	23
学生（児童生徒含む）	7
ボランティア団体	8
その他（一般）	7
合計（紙63、WEBフォーム20）	83



3 記念トークの概要



自身の難病のことや歌との出会いを、坂本九氏の「心の瞳」など歌唱を交えながら紹介した。8月に就任した県の読書アンバサダーなどにも触れながら、得意なことを生かして社会に貢献したいとの思いを伝えた。また、幼少期に自宅近くの公民館で歌を褒められたこと、歌への思いや音楽の道に進んだことなども話した。

【参加者から】

- 米良さんをはじめとして色々な団体の方々の関わり方など、障がい者の方々への支援などが楽しく聞けて良かったです。共生社会の益々の発展期待しております。
- 米良さんの話をもっと聞いてみたかった。
- 米良さんが盛り上げてくれましたね。真北さんの進行もさすがです。当事者2人が前に出ることで共生社会の姿が強調されよかったです。
- 司会の真北さん、歌手の米良さんの温かいお人柄での進行にほっこりしました。
- 米良さんがおっしゃった「どんな人間でもいい所と悪い所がある」という言葉は、障がい者と触れ合う時、健常者は異常に障がいがある人をあわれんだり、必要以上に気を遣ったりすることが逆差別になったりするというところに改めて気づききっかけをつくってくれました。さらに、米良さんが「自分が得意とすることを生かして社会の役に立つ活動をする」という言葉も、将来何がしたいのか悩んでいる学生たちの心に響いたのではないかと感じます。最後に、障がいがある人々の日常や活動を知ること、自分が恵まれた存在であることを改めて認識できました。米良さんの「恵まれた体」という言葉にはっとした自分に気づくことができたのが本当に良かったと思います。
- 米良さんの歌に感動しました。いろいろな団体の取組を知り、元気ができました。みんなで協力し合える世の中でありますように。
- 米良さんのお話を伺い、当事者の方の気持ちや気持ちの変化などを知ることができました。知らないからこそ、近づけなかったり、逆の対応になってしまったりと、お互いを知ることが大切なのだと感じました。
- 米良さんの歌にジーンとしました。心に沁みました。ありがとうございました。
- 初めて米良さんにお会いして、人柄に感銘を受けました。
- 米良さんのお話が宮崎弁で親しみやすく、とても深いもので心を打たれました。

4 県内団体紹介の概要（動画）

<p>子どもと 家族・関係者のあつまり ポン太クラブ</p> 	<p>子どもと家族・関係者の集まりポン太クラブ（都城市） 宮崎大学ボランティアサークルびいだま（宮崎市） バスケットボールチーム ブルーホーク（宮崎市） 輝きエイサーサークル（日南市） HPミュージックサポート（都城市） 自主学級「あいとぴあ」（日向市） 宮崎手話サークル「いもっこ」（宮崎市）</p>
<p>宮崎大学ボランティア サークル びいだま</p> 	<p>ブルーホーク</p> 
<p>輝きエイサー サークル</p> 	<p>HP ミュージックサポート</p> 
<p>あいとぴあ 生活セミナー 自主学級</p> 	<p>宮崎手話サークル いもっこ</p> 

【参加者から】

- たくさんの団体が多様な取組をしているので、これからも続けていってほしいと思っています。
- 県内団体紹介（動画）各団体1分程でしたので直接見てみたいと思いました。
- バスケットボールの皆さん、何回か観にいきました。お母さん方の熱い応援に感動しました。これからも頑張ってください。

5 実践報告の概要

(1) 公民館等モデル

団体名	延岡市教育委員会社会教育課
報告題	生涯学習講座「かねのね」の取組
報告者	延岡市教育委員会社会教育課 指導主事 飯野 小巻氏
概要	延岡しろやま支援学校を会場に、年3回の講座を開催した。当事者アンケートの結果に応じて、各回、メイクやダンスなど複数のプログラムを実施した内容について、その企画段階から実際の活動までを報告した。



チラシ、どうする？

第1回講座

講座2 みんなで楽しくカラダを動かそう

9名参加

- ① ストレッチ
- ② リズム体操
- ③ ゲーム

第2回講座 11月23日(木・祝)実施

講座1 楽しい運動	25名参加
講座2 フラワーアレンジメント	19名参加
講座3 防災	31名参加
講座4 メイク	8名参加
講座5 ダンス	20名参加
講座6 X'masの飾り	22名参加

第3回講座 スタッフの感想

【コンソーシアム委員6名、支援学校校長6名、西塚町2名、大学生4名、ボランティア10名2名、計20名】

- にぎやかな雰囲気の中で活動できた。皆さん笑顔で参加されていた。
- 参加体験できないことを様々な講座を通して経験することができ、とても良かった。
- スタッフの人数、人材共に十割で参加する程は安心できると感じた。
- ハイスゴムでは、グループで「木の葉、これくらいかな?」「いい色だね!」「いい香りだね!」等、やり取りが自然と各テーブルから出ているのが良かった。
- 最終子で参加された方がトイレを利用しようとした際に、便所ベットのついた個室が無かった。保護者の方から案内で大丈夫ですと言われたが、申し訳なかった。
- 応接方法について、参加対象者、人数ともに想定している現状ではOKだが、今後の展開を考えると効果的な手段を検討する必要がある。
- 21日曜日の朝、ボランティアが、生涯学習講座などのために動きかけるとしたら良いかと考えているところも聞きがあった。各団体の役割により、どんな働きかけを行って良いのか(もしくは緊急時)を連携して確認できる場があると良い。



【参加者から】

- 延岡市の取組内容が充実しているように感じました。初めての取組とのことでしたが、展開が素晴らしいと思いました。
- 延岡市の町、支援学校、大学など、各機関が繋がっていく途中過程を聞くことができ、これからが楽しみな地域、取組だと楽しみになりました。
- 市町村の生涯学習講座への広がりを実感しました。今後も市町村担当者会を充実させて、全ての市町村で講座が実施されるといいなと思いました。
- 特別支援学校の協力による取組。やはり学校は管理職の理解度によってここまで協働できるのだなと印象的でした。

(2) 大学公開講座

団体名	県立看護大学
報告題	ひむかアカデミア in 看護大学
報告者	県立看護大学看護研究・研修センター長 川原 瑞代氏
概要	県立看護大学で実施した講座について、学生と視覚障がいや聴覚障がいのある障がい当事者が一緒に企画し取り組んだ事例を報告した。学生が集まって、当事者の方にとって必要な配慮を具体的に考えながら準備を進めた様子なども紹介した。



目指したこと

学びと出会いを生む場となり、障がいの有無にかかわらず、誰もが**その人らしく健康**に暮らせる社会の実現

参加者の**個性や持てる力を確かめ、高め合う**

参加者**相互の理解**を深め、豊かな**成長**の機会とする

企画委員会

共に考える

声をかけるのは、言いたい方がいいですか？年齢の方がいいですか？

大鼓に触れてみたい、やってみたいというのがありますね。

相手の立場に立つ

目をつぶってやってみる。「怖い!!」

難しい・・・でも日頃、経験が少ない方々。楽しんでもらいたい。頑張ろう!

学生

分からないことだらけの中でどうすれば理解してもらえるのか、どうすれば楽しんでいただけるかを当日のやり取りまで細行協議し、言いたいなと思うこともあったが、当日はお互いに**新たな発見**が生まれ、とても楽しい思い出になった。この交流は今後も続けていくべきだなと思った。

最期の和太鼓のセッションを皆さんにとくも喜んで頂き、今までサークルで和太鼓をやっていたよかったですと本当に思いました。また、手鼓を勉強しているということも、聴覚障がい者の方に伝えたら、「ありがたう」と言われ、色んな人のごちについて、**これからも学んでいこう**と思いました。

聴覚障がい、聴覚障がいのある方々と触れ合う機会がこれまではほとんどなく、当日も始めるまでは不安や緊張が大きかったです。いざスタートすると、コミュニケーションはきちんと取れ、私たちと同じように楽しんで感動してくださりました。障がいのある方と接する時の大きな壁(心理的に)にコミュニケーションを、次からは気負いなく自分から取りたい。取ってほしいと思ふきっかけになりました。

事業を終えて

■学生評価

- ・事業目的や目標の達成度 **100%**
- ・参加満足度 **94%**
- ・意見
 - ・もう少し早く準備ができれば良かった。
 - ・十分に練習時間や話し合いの時間を取る事ができなかった。参加者の方のためになることをじっくり考えて作りあげたかった。
 - ・(当日参加の実行委員)本番の具体的なイメージや、役割を掴むまでに時間がかかった。
 - ・障がいの特性で、同じような時間配分とならず、進行がうまくいかないところがあった。

【参加者から】

- 県立看護大学が、施設や人材を使って事業を展開していたが、それが学生の成長にもつながっていて、ウェルビーイングだなと感じました。
- 看護大学の取組を通して、学生が学ばれた視点、学んでいかれた過程が大変すばらしいと思いました。
- 障がいのある人の生涯学習の推進についての県内の取組を、全く把握していなかったが、それを知ることができて良かった。看護大学の大学生や地域の高校生が、がんばってるなあと思いました。参加して良かったです。

(3) 特別支援学校取組推進校

① 延岡しろやま支援学校

団体名	延岡しろやま支援学校
報告題	取組推進校発表（聴覚障がい教育部門）
報告者	延岡しろやま支援学校 教頭 森永 英津子氏
概要	延岡しろやま支援学校の聴覚障がい教育部門で、中学生徒と小学部児童を対象に、学校などで働く当事者が講師となった取組を紹介した。卒業後の進路や当事者以外とのコミュニケーションなどについて学んだことを報告した。



幼児児童生徒数（部門別）

令和5年12月1日現在

学部	部門名			合計
	聴覚障がい教育部門 (ととろ部門)	肢体不自由教育部門 (わかあゆ部門)	知的障がい教育部門 (たいう部門)	
幼稚部	2			2
小学部	6	1 1	3 4	5 1
中学部	2	8	4 2	5 2
高等部		1 3	5 3	6 6
合計	10	3 2	1 2 9	1 7 1

今年度の取組

先輩と語る会を2回実施

	期日	講師	内容・方法
第1回	9月2日	聴覚障がい当事者 教諭 (宮崎県立都城さくら聴覚支援学校)	講話 (オンライン)
第2回	11月17日	志磨村 早紀氏 (進行性難聴当事者・言語聴覚士)	講話・座談会 (対面)

今年度の取組（9月：第1回先輩と語る会）

9月2日（金）、都城さくら聴覚支援学校とオンラインで繋いで、実施しました。

今年度の取組（11月：第2回先輩と語る会）

11月17日（金）、志磨村様に本校にお越しいただきました。

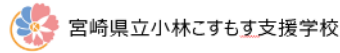
- 取組の成果**
- 成人聴覚障がい者の講話を聞くことで、**色々な進路先がある**ことを知ることができた。
 - **進路先において支援を受けることができる**ということを知ることができた。
そのためには、**自分の聞こえや自分が使用している補聴器や人工内耳について知る**ことがとても大事であることを理解した。

② 小林こすもす支援学校

団体名	小林こすもす支援学校
報告題	地域で充実した生活を送るために ～夢・希望のこすもすを咲かせよう～
報告者	小林こすもす支援学校高等部 安藝 美友希氏
概要	小林こすもす支援学校を紹介した後、高等部で行った余暇活動に関する学習や、地域の障がい者団体を講師としたニュースポーツ体験会を報告した。併設する小林高等学校との交流なども紹介した。



地域で充実した生活を送るために ～夢・希望のこすもすを咲かせよう～



小学部

中学部

高等部



東方小学校に併設



東方中学校に併設



小林高校に併設

①余暇についての授業実践

- ・11月24日（金）6校時 事前学習
（余暇について、現在の余暇の過ごし方、自分の好きなこと等の確認）



余暇の過ごし方を記入

①余暇についての授業実践

- ・11月28日（火）5・6校時 体験学習（サンライズスポーツクラブの活動体験）



ボッチャの体験



将来の夢や希望のこすもす

①授業実践について

- 生活を充実させるために、余暇の過ごし方が大切であることや余暇のポイントを全体で確認することができた。
- サンライズスポーツクラブとの体験活動を通して、障がいの有無や程度に関わらず、だれもが活動できるスポーツの楽しさを体験できた。学校外でもスポーツができるところがあることを知ることができた。

②併設校、地域団体との交流について

- 生徒会同士の話し合い、文化祭への参加により同世代の交流の機会をもつことができた。
- 高等部3年生に地域団体の活動を案内し、興味のある活動に参加し、余暇の選択肢を広げる経験ができた。

【参加者から】

- 小林こすもす支援学校の取組は、わかりやすく、併設校との交流は、まさに、共生社会の一環だと感心しました。
- 学校で勤務していて感じていることを発信して、いろいろなところとつながり、みんなでよりよい方向につなげていきたいと思う。
- 学校での指導内容や生きる上で必要な内容について、卒業後も、地域の中で継続して教育を提供できる場や人材、体制が整えば整うとよいと感じています。学校現場として、生涯学習に寄与できることを模索していきたいと思います。
- 団体や学校によってさまざまな取組が楽しそうだと思います。これからは、共生社会について考えを深め、生かしていきたいと思いました。

6 トークセッションの概要

テーマ	誰もが楽しみや学びに出会うために
登壇者	米良 美一氏（歌手） 上原 里奈氏（都城市生涯学習課主幹） 谷口 祐貴氏（青島青少年自然の家職員） 堀口 靖之氏（宮崎市聴覚障がい者協会会長） 丸山 華音氏（南九州大学人間発達学部の学部生）
進行	真北 聖子氏
概要	登壇者が所属している団体や大学等の取組を報告した。それぞれの登壇者は、司会の真北さんと米良さんとトークするの中で、この事業に初めて取組んだ感想や、団体で活動している様子などを紹介した。



Ⅲ 成果と課題

1 成果

- 米良さんが、障がいのある人と無い人とが隔たりなく学ぶことについて話したことで、参加者の気づきにつながった。
- 学生や一般の参加者が昨年よりも多かった。参加者から、障がいのある方々の生涯学習について考える機会となったという感想を多くいただいた。
- コンファレンスの運営業務を委託したことで、当日は安定した音響やオンライン配信で実施することができ、ステージ運営等の他業務に集中することができた。

2 課題

- 発表時間が長くなるなどしたため、質疑応答の時間が取れず、会場やオンラインの参加者が意見感想を話す機会がもてなかった。
- 視覚障がいのある方などへ音声による情報保障が十分でなかった。
- 一般の参加者にとって、会場の県教育研修センターは馴染みがない施設であるためていねいな場所の案内が必要だった。

みやざき



共生社会のまなび

※このマークは、本事業が目指す「共に学ぶ社会づくり」を表しています。

令和5年度 共に学び、生きる共生社会コンファレンス
県教育研修センター第4回マイトライ(生涯学習・社会教育課題別研修)



ひなたのつどい

～誰もが楽しみや学びに出会うために～

令和6年

1月27日 **土** 13:00 ~ 16:00

参加無料

要事前申込

会場

**宮崎県教育研修センター
〈研修ホール〉**

宮崎市阿波岐原町前浜4276-729

参加者

どなたでも参加できます



障がいの有無に関わらず、誰もが共に学び、共に生きる共生社会の実現に向けて、障がい者の生涯を通じた学びを推進する輪が広がっています。

米良さんの記念トークや県内の関係者による先行事例の紹介、トークセッションなどをとおして、一緒に共生社会について考えてみませんか。

オンラインでも参加できる
ハイブリッド開催
(会場またはZOOM)

いずれも事前申込みをお願いします 申込締切 **1月17日(水)**
※申込み方法の詳細は裏面をご覧ください



13:15~

記念トーク

波瀾万丈物語～未来に向けて～

宮崎県西都市出身。宮崎駿監督作品、映画「もののけ姫」の主題歌を歌い、一躍脚光を浴びる。テレビ・ラジオにも多数出演し、親しみやすい人柄と個性豊かな語り口で、世代を超えて人気を集めている。

令和3年4月、西都市市民会館長に就任し、コンサートや講座など県内の文化活動振興にも貢献。西都市内の幼稚園や保育園、小学校などで、読み聞かせコンサートを実施しており、令和5年8月「みやざき読書アンバサダー」に就任。



みやざき読書アンバサダー

歌手 **米良 美一氏**

主催 宮崎県教育委員会 文部科学省

13:35~ 県内団体紹介(動画)

子どもと家族・関係者の集まり
ポン太クラブ
都城市

宮崎大学
ボランティアサークル
びいだま
宮崎市

バスケットボールチーム
ブルーホーク
宮崎市

**輝きエイサー
サークル**
日南市

**HPミュージック
サポート**
都城市

自主学級
あいとびあ
日向市

**宮崎手話サークル
いもっこ**
宮崎市

13:45~ 実践報告

／ 公民館モデル ／

**延岡市社会教育課
生涯学習講座
「かねのね」**

社会教育課と延岡しろやま支援学校が協力して、福祉事務所などの利用者や一般市民を対象とした講座を実施しました。

／ 大学公開講座 ／

**県立看護大学
「ひむかアカデミア
in看護大」**

企画会議に、障がい者が学生と一緒に参加し、学生が主体となって企画したプログラムで講座を実施しました。

／ 取組推進校 ／

**延岡しろやま
支援学校**

聴覚部門の小学部・中学部の児童生徒を対象に、卒業生2名から仕事や卒業後の生活などの講話を2回実施しました。

／ 取組推進校 ／

**小林こすもす
支援学校**

進路学習の一環としての生涯学習の体験や、地元の団体の方々が講師となり、ニュースポーツの体験を行いました。

15:00~ トークセッション

誰もが楽しみや学びに出会うために

歌手
米良 美一氏

宮崎市聴覚障害者協会
堀口 靖之氏

都城市生涯学習課
上原 里奈氏

南九州大学(学生)
丸山 華音氏

青島青少年自然の家
谷口 祐貴氏



総合司会
シンガーソング
ライター **真北 聖子氏**

お申込み方法

申込締切

1月17日(水)

WEBフォーム・FAX・電話

のいずれかよりお申込みください。

- 右記の2次元コードを読み込んで、必要事項を入力する。
- 下記の「FAX申込用紙」に必要事項を記入して、FAXで送付する。



お問合わせ先

株式会社AVC放送開発「ひなたのつどい」事務局
TEL:0985-51-9703
宮崎県教育庁生涯学習課 生涯学習推進担当
TEL:0985-26-7244

ひなたのつどい FAX申込用紙

FAX 0985-53-8922 (AVC放送開発)

フリガナ		参加者の区分	<input type="checkbox"/> 障がい当事者・家族 <input type="checkbox"/> 福祉行政関係者 <input type="checkbox"/> 障がい者団体・支援団体関係者 <input type="checkbox"/> 教育(学校等)関係者 <input type="checkbox"/> 福祉団体・福祉事業所関係者 <input type="checkbox"/> 学生(児童生徒含む) <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> ボランティア団体 <input type="checkbox"/> 教育行政関係者 <input type="checkbox"/> その他(一般)
氏名		参加方法	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン
連絡先	電話番号	メールアドレス	
当日は手話通訳を行う予定です。 その他の配慮が必要な場合はお知らせください。			

※お申込みいただいた個人情報はこの大会の運営目的にのみ利用いたします。